

きちんと市政&議会報告



■ 以下9項目・本会議質問に立ちました

■ 本会議の様子は岐阜市議会HPでインターネット録画中継されています。



1. 県市連携による公共施設の再配置（市長）
2. 低炭素まちづくり計画に向けた考え方（副市長）
3. 中心市街地における駐車場の適正配置（副市長）
4. 子どもへの投資による柳ヶ瀬活性化（商工観光部長）
5. FC岐阜との連携による地域振興（副市長）
6. 岐阜科学塾創設のよる理科教育の充実策（教育長）
7. 特別支援学校における就職支援（教育長）
8. 学校を核とした防災拠点整備（教育長）
9. 市の知的財産の戦略的な考え方（企画部長）

■ 質問

→岐阜市が指定する「中心市街地活性化基本計画」の枠内のコインパーキング（立体駐車場含む）の収容台数は約7500台と年々増加しています。大小無秩序に点在する現在の駐車場実態を都市計画の責任者として放置していいとは思いません。適正配置に向け、第2期に入る基本計画の課題に据えてもいいのでは？

■ 答弁(副市長)

→コインパーキングとしての土地利用は、あくまでも暫定的な措置であると思われませんが、街並みの統一やにぎわいの創出の観点から中心市街地の再生を進める上で、好ましい状況であるとは言えないと思います。現在、国と共同研究を進めています。中規模再開発事業に向けて、土地利用の提案・参加を促していきます。

【雑感】たま駅長を見習って

→立命館時代の恩師が和歌山大へ赴任、その後いよいよ退官を迎え、

先日は退官記念講演出席のため和歌山市へ。せっかくの機会なので、ローカル線復活の事例で有名な貴志川線に乗車。車内には本棚、子ども向けの絵本が並び、楽しい仕掛けがいっぱい。家族連れで賑わう貴志駅には就寝中の「たま駅長」さん。もちろん地域のおじいちゃん、おばあちゃんも利用される「たま電車」を見習って、岐阜の公共交通の再生を進めたいと思います。



採択された市民の皆様の請願

【題目】FC岐阜を活用した岐阜市の観光PRを求める請願

【内容】FC岐阜と岐阜市との間で地域振興を話し合う協議会を設立する

今回の定例会で成立した主な平成24年度予算と条例

■ 一般会計予算 1,519億5,000万円

◎ 教育「理科教育を重視」

- ・市立科学館に岐阜科学塾を創設（理科総合講座）
- ・小中学校に理科支援員を配置

◎ 健康「スマートウェルネス総合特区」

- ・ウォーキングコース路面表示

◎ 防災「想定外への備え」

- ・駅周辺帰宅困難者対策（防災倉庫の整備）
- ・マンホールトイレの設置（学校と防災の連携強化）
- ・防災公園の整備（金公園で整備予定）

◎ 交通「岐阜市型BRT推進」

- ・連節バスを市内ループ線に導入（バス優先レーンの整備）
- ・観光周遊バスを試行運行（ぎふ清流国体に合わせて運行予定）



▲マンホールトイレ
実際に座ってみました
(文教委・行政視察)

■ 主な新設条例

- ・暴力団排除条例（暴力のない安心な社会を実現するための条例整備）
- ・口腔保健条例（虫歯のない健康づくりを推進するための条例整備）

議決された予算・条例等は[広報ぎふ]に掲載される他、和田直也も[市政&議会報告]します。



【解説☆広報ぎふ】毎月第1土曜 10:00am 市議会議員 和田直也 事務所
市議会で採決されたことが市の事業・計画となり「広報ぎふ」に掲載されます。岐阜市徹明通6-1-1
議決した議員として、解説します。 TEL+FAX 058-251-2638